



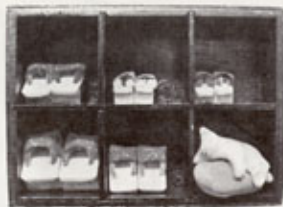
民主党

かわらだひろこ

川原田弘子

News

編集・発行＝市会議員・川原田弘子事務所／TEL & FAX 078-709-8998



童謡「春よ来い」で、赤い鼻緒のじょじょを履いて春を待ってたミイちゃん、もう、おんにも出られたかな…

17年度が始まります。空港の開港、医療産業都市への企業や研究機関の集積、観光、スーパー中枢港湾など、これから10年の神戸の鍵を握るプロジェクトが目白押しです。新しい神戸の10年を創る一員として力を注ぎたいと思っております。

〒655-0034 神戸市垂水区仲田3-1-8-202

TEL & FAX 078-709-8998

e-mail: happy@hiroko-club.com

URL: http://www.hiroko-club.com



いかなご、たくさん炊きま
砂に潜って冬眠ならぬ夏眠
をするそうですよ。
いいですねえ！

平成17年度予算が審議されました

H16年度の神戸市法人関係税は久々の増加となり、H17年度予算では、昨年度より55億円増の市税収入としています。ただし、H18年度以降を見ると、法人収入がこのまま増加するとの見込みは困難で、また、三位一体の改革において国の生活保護費の補助率引き下げの動きや、固定資産税の評価替えの影響など、神戸市行政の経営には厳しい要素が待っているのも事実です。

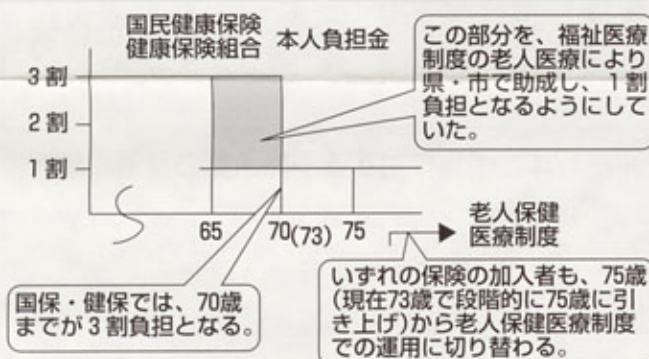
時代の変化に対応した持続できる行政システムの確立のため、H22年を目標にした抜本的な改革が進められているところです。改革に伴い、職員削減や、事務事業の大幅な見直し、指定管理者制度の導入など、経営の効率化を図る一方、学校施設の耐震化や高潮対策事業費など、教育や安全面への大幅な予算増を行うメリハリのある予算となっています。

例えば、福祉面ではこういう予算増が行われます！

- ・「JR須磨」「阪神魚崎」「神鉄湊川」駅にエレベータ
- ・無年金者福祉給付金の充実（2.5億）
- ・障害者支援費制度予算を増額（91億→105億）
- ・保育所新設を継続し2万人保育を達成
- ・児童虐待対策を充実（保健士による全新生児世帯訪問やこども家庭センターの強化）
- ・障害者就労支援のジョブコーチを増員

福祉医療の現行制度について

Q1: 「老人保健医療」に「老人医療」といろいろ聞きますが、一体どういう制度なのでしょう。



Q2: ほかにどんな医療助成がありますか？

乳幼児、重度心身障害者、母子家庭の方々を対象に、県市協調事業として、一部負担金を無料にするなどの助成制度があります。また、例えば、重度心身障害者の対象として、県の規定では身障1・2級と重度知的障害者のみとなっていますが、「身障3級+中度知的」あるいは「身障3級のうち内部障害」の障害者の方も対象とするなど、市独自の事業として助成制度が運営されています。

福祉医療の見直しについて

県の福祉医療の見直しに伴い、県・市協調事業として行われている市の施策も見直しをする必要が生じました。老人医療費の見直しなどで、約5億円の削減となりますが、この分を、乳幼児医療費や障害者医療費、子育て支援などに回すことにより、バランスをとった施策となっています。福祉医療の見直しは7月から実施される予定です。



このほか、国保・人間ドック助成の拡大、小児慢性特定疾患施策、子育て支援策に予算が割り当てられています。

